

## 鳥取県

## インバウンドの最新動向や推進方法に関するセミナーを実施

### 支援概要

#### ■支援の経緯

M温泉は年間約36万人の観光客が訪れる温泉街である。宿泊客数が減少する中、外国人宿泊客数は年々増加傾向にあるが、地域でのインバウンドに対する意識は決して高いとは言えず、ハード面、ソフト面共に充実しているとは言えない状況にある。今後、外国人の誘客を増やし、温泉街における旅館・商店・飲食店への経済効果を高めていく必要があると考える。

そこで、温泉旅館をはじめとした全国の宿泊施設約400軒の外国人集客サービス、観光地の誘客コンサルティングを手掛けるO氏に支援を依頼した。

専門家の目でM温泉を見ていただき、インバウンド強化に対する現状の課題や今後の取り組み内容のアドバイスをいただき、旅館商店のインバウンド機運醸成のきっかけになるよう期待したい。

#### ■専門家による具体的な支援内容

インバウンド向けの観光商材、魅力を発掘するため、町内の宿泊施設・観光施設の視察・現地ヒアリングを実施。またインバウンド集客に関心のある旅館経営者、営業責任者へのヒアリングを行った。

それらを踏まえ、温泉地におけるインバウンドの最新動向やインバウンドを取り組むための必要手段の情報提供、着地型観光商品の必要性やその推進方法をアドバイスした。

また旅館・飲食店の観光事業関係者、観光団体関係者向けに「ゼロからはじめるインバウンド」というテーマで、近年のインバウンド動向、具体的な集客方法、先進事例、M町のインバウンドの課題と可能性について講演を行った。

### 支援の効果

セミナーでは宿泊施設、飲食店、美術館、観光協会、旅館組合等の事業関係者、約40名が参加。インターネットを活用した海外向け情報発信の重要性、S温泉など先進事例の説明により、地道な活動の大切さやSNSによる海外向け情報発信の具体的な方法、注意点などを講演し、理解を深めてもらった。インバウンドに関心のある参加者が多く集まり、今後の取り組みの第一歩を踏み出した。



### 専門家の声

各旅館の外国語ホームページの開設がないので中国地方の中での存在感が薄いのが課題である。まず認知してもらうためには海外の予約サイトや外国語ホームページを充実し、旅館経営者ならびにマネージャークラスが率先してネットを活用したインバウンド市場の誘客方法を実践することが重要と思う。今回のセミナーをきっかけに具体的な行動に繋がることを期待しています。

### 団体の声

初級者向けのセミナーと既にインバウンドに取り組む旅館への個別相談の2項目で支援を行っていただき、それぞれの実情にあわせた具体的なアドバイスをいただけた。誰でも取り組むことができる実務的な内容のアドバイスが多く、とても参考になるものだった。また、事業者だけでなく行政、観光団体の立場においても沢山のヒントをいただけた支援だった。